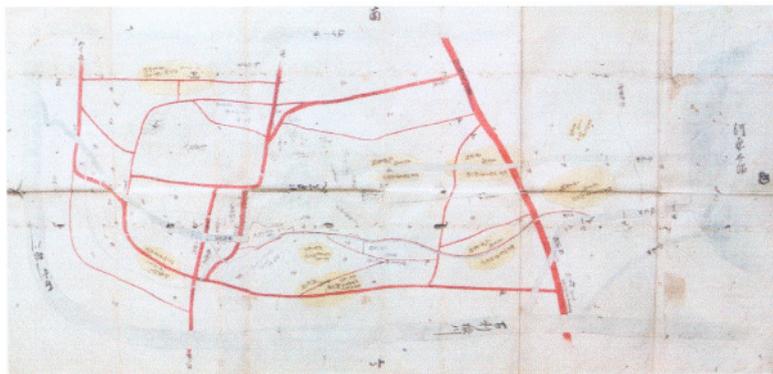


企画展 「The 笠原沼」

～笠原沼の開発とその歴史～

宮代町郷土資料館では、平成12年2月9日から4月2日にかけて企画展「The 笠原沼～笠原沼の開発とその歴史」を開催しています。

笠原沼は江戸時代初期に江戸幕府の代官であった大河内金兵衛によって下流域の百間村の水田を開発するために溜池として造られました。しかし、排水路である姫宮落堀に堰を造り用水として利用していたため、上流域の村や笠原沼周辺の村と百間村の間に度々水争いが起こりました。

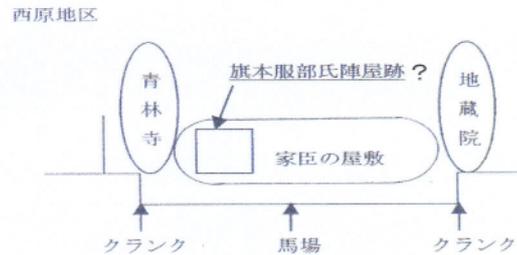


その後、江戸時代の中頃8代将軍吉宗の時代に井沢弥惣兵衛により見沼代用水から分かれる笠原沼代用水が造られ百間村の田んぼの用水源としたため、笠原沼を田んぼとして開発することができました。今回の展示では、笠原沼が溜池であった頃の水争いの古文書や笠原沼新田が開発された時の古文書、笠原沼田んぼで使われた道具などを展示しています。また、企画展に併せ郷土

史講座として笠原沼や見沼の開発に係わる講座やバスツアーも行われています。

発見！ 戦国時代から江戸時代の館跡

今年2月、県道蓮田杉戸線の拡幅に伴い西原の信号付近で埼玉県教育委員会により試掘調査が行われました。この付近には安土桃山時代から江戸時代初期に百間3千石を領有していたと伝えられる旗本服部権太夫の陣屋の跡があると伝えられてきましたが、どこにあるのか全く不明でした。しかし、今回の試掘調査で西原の信号から数十メートル北側に堀幅10メートル程度の非常に大きい堀が発見されました。この付近の明治時代の地籍図（地図）に四角形の区画が見られますので、この場所が、旗本服部氏の陣屋跡の可能性があると推定されます。また、発見された堀のやや南側では、幅約2メートルの堀も発見されています。この堀からは戦国時代（16世紀）の内耳土鍋が見つかっていますので、服部権太夫が陣屋を造る前にも武士の館があったと考えられ、西原地区は戦国時代から江戸時代初期にかけてこの付近の中心地であったと推定されます。



山崎遺跡で発見された土豪の館跡の堀

昨年12月から発掘調査が続いている埼玉県選定重要遺跡である山崎遺跡で江戸時代の館が発見されました。堀幅は3メートルもあり、おそらく戦国時代から江戸時代初期にかけて住んでいた土豪や名主層（今でいう村長）の館であると推定されます。堀の覆土（埋まった土）からは多量の火山灰が出土しており、詳細な分析をかけなければ断定できませんが、江戸時代後期の浅間山が噴火した際、火山灰をこの堀に廃棄し埋めたと推定されます。堀の内側の曲輪（くるわ）からは建物や柵の柱穴も発見されています。

資料館の活動から 『冬至の火渡り』の映像記録作成中

12月22日、宮代町の逆井地区周辺で火渡り式が行われました。これは埼玉葛普寛講という御嶽山を信仰している講の皆さんによって執り行われ、地元の方も多く参加し民俗行事のひとつとなっています。

郷土資料館では平成7・8年度に『東叡原鷲宮神社獅子舞』の映像記録を作成し、それに続くものとして11年度は『冬至の火渡り』を撮影し、12年度は編集を行います。『冬至の火渡り』映像記録では火渡りにあわせて、下記の埼玉葛普寛講の1年も撮影しました。

7月『立ち拝み』『御嶽山登拝』

8月『下山拝み』

9月『加須市総願寺火渡り式』

12月『冬至の火渡り』

2月『初拝み』

行事のたびに、先達の木村昭助様をはじめ、先

達、講社の方々にご協力をいただきました。映像記録は普及用（20分）と研究用（120分）を作成する予定です。宮代町の伝統行事の記録として資料館で保存し大切に後世に伝えるとともに、学校教育や社会教育に活用するとともに、広く皆様にも活用して頂き、より多くの方に知っていただきたいと思います。



企画展 「神々とのつながり」

～社寺総合調査実施報告展～

平成2年度から平成11年度にわたり町史編さんの一環として行なわれた社寺総合調査は、町内に数多くある神社や寺院の1つ1つを丹念に調査し記録したものです。

また、町内のいたるところに散在する祠や路傍にある石造物、記念碑等石造物の調査もあわせて行われました。この調査によって人々の信仰の様子や貴重な文化財が明らかになり、地域の歴史を紐解く上で大きな成果がありました。

本企画展の内容は町史資料集「社寺総合調査Ⅰ～Ⅴ・路傍調査」の基礎資料をもとに構成された企画展です。

展示資料については、町内の様々な貴重な文化財の中でも木像仏や石造物、そして金工品など、また写真や拓本等で見られない文化財を展示し、分かりやすく解説いたしました。これにより調査の成果をより深く理解していただけたらと思います。

期間 4月13日（火）～6月11日（日）



写真：墓地改修前の川島一庵内「宝篋印塔」

コラム くるみの木

◆町内の和戸地区にある埼玉県内で一番古い歴史があるものはなんでしょう？◆それは和戸教会です。しかし、3月はじめには教会が取り壊されてしまいます。いまの建物は昭和30年に建てられたもので、明治11年に教会が出来てから2代目の建物です。2月27日には教会が取り壊される前の最後の礼拝が行われました。◆建物は壊されますが、教会の十字架やステンドグラス、祭壇やオルガン、長椅子などは残されます。◆教会はなくなるわけではなく、教会が建っていたところに新しく建てられます。◆資料館でも教会のことを記録に残すため、教会の写真をとったり、くわしい寸法を計って図面に残したり、ステンドグラスを資料館で保存していく予定です。◆建物は新しく変わっても、和戸教会の歴史は後世の人々に伝えられていくでしょう。

資料寄贈者名簿

平成11年12月から平成12年2月までに、下記の皆様が郷土資料館へ歴史や文化に関する資料をご提供いただきました。厚く御礼申し上げます。

(50音順)

熊倉弥市氏	民具 (わらじ)
小松房恵氏	民具 (えなつぼ等)
斎藤勘五郎氏	民具 (石油ランプ・鍬)
杉山文蔵氏	民具 (荷車)
関根はな氏	史料 (近衛兵アルバム)
戸田義一氏	民具 (ホツツケの農具)
中村薫子氏	民具 (熨斗等)
中村ケエ子	民具 (野良着)
野口丈吉氏	民具 (ハッピー等)
森 近司氏	民具 (印半纏等)
森田留吉氏	民具 (ホツツケの農具)

資料館日誌抄

- 《平成11～12年》11/1～2/29
- 11. 2 特別展「江戸時代の旅と絵馬」開始
 - 11. 6 講座「道中日記にみる江戸時代の旅」
 - 11. 6 特別展展示説明会
 - 11.11 町史編集委員会議
 - 11.12 文献部会
 - 11.16 「ぐるぐるみやしろバスツアー」見学
 - 11.20 古文書講座(5回講座)
 - 11.23 特別展講演会「江戸時代の旅にみる浮世絵と絵馬」
 - 11.28 絵馬づくり教室
 - 12. 7 須賀小学校見学
 - 12. 9 町史編集委員会議
 - 12.15 企画展「子育ての祈りと願い」開始
 - 12.20 山崎遺跡発掘調査開始
 - 1.13 町史編集委員会議
 - 1.14 文献部会
 - 2. 3 笠原小学校見学(郷土学習)
 - 2. 8 考古部会
 - 2. 9 企画展「The 笠原沼」開始
 - 2.13 郷土史講座「井沢弥惣兵衛と見沼代用水」
 - 2.19 郷土史講座「笠原沼新田の開発」
 - 2.20 民俗部会
 - 2.24 須賀小学校見学
 - 2.27 「見沼代用水を巡るバスツアー」
 - 2.28 文献部会

※ 他に民俗調査、金石調査を行っています。

宮代町郷土資料館だより えんがわ 第18号

発行日 平成12年3月1日

発行 宮代町郷土資料館

〒345-0817

埼玉県南埼玉郡宮代町字西原289番地

TEL 0480-34-8882

HP <http://www1.sphere.ne.jp/miyasiro/musiam/top.html>